



～復興道路・復興支援道路として初めて開通～

東北横断自動車道釜石秋田線

宮守 IC～江刺田瀬 IC～東和 IC

被災地の復興を支える物流ルートとして多くの企業が利用

東日本大震災で被災した沿岸地域の一日でも早い復興を支援するとともに、沿岸と内陸の交流をより促進するものとして、復興支援道路の整備を進めています。

この度、東北横断自動車道釜石秋田線 宮守 IC～東和 IC 間（延長約 24km）が、平成 24 年 11 月 25 日に復興道路・復興支援道路として初めて開通しました。下記のとおり、開通直後の交通状況を取りまとめたので結果をお知らせします。

■ 国道 107 号、283 号の交通が東北横断自動車道へ転換

全車交通量

区 間	交 通 量 (24 時間)		摘 要
	開通前(10/16)	開通後(11/28)	
横断道釜石秋田線(宮守IC～江刺田瀬IC)	—	6,000台	無料区間
国道 107 号(奥州市・花巻市境)	3,000台	930台	約3割に減少
国道 283 号(花巻市・遠野市境)	5,920台	4,540台	約8割に減少

大型車交通量

区 間	大型車交通量(24 時間)		摘 要
	開通前(10/16)	開通後(11/28)	
横断道釜石秋田線(宮守IC～江刺田瀬IC)	—	1,100台	無料区間
国道 107 号(奥州市・花巻市境)	560台	80台	約1割に減少
国道 283 号(花巻市・遠野市境)	920台	630台	約7割に減少

■ 被災地の復興を支える物流ルートとして多くの企業が利用(別紙)

<発表記者会:岩手県政記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局

岩手河川国道事務所 電話019-624-3131(代表)

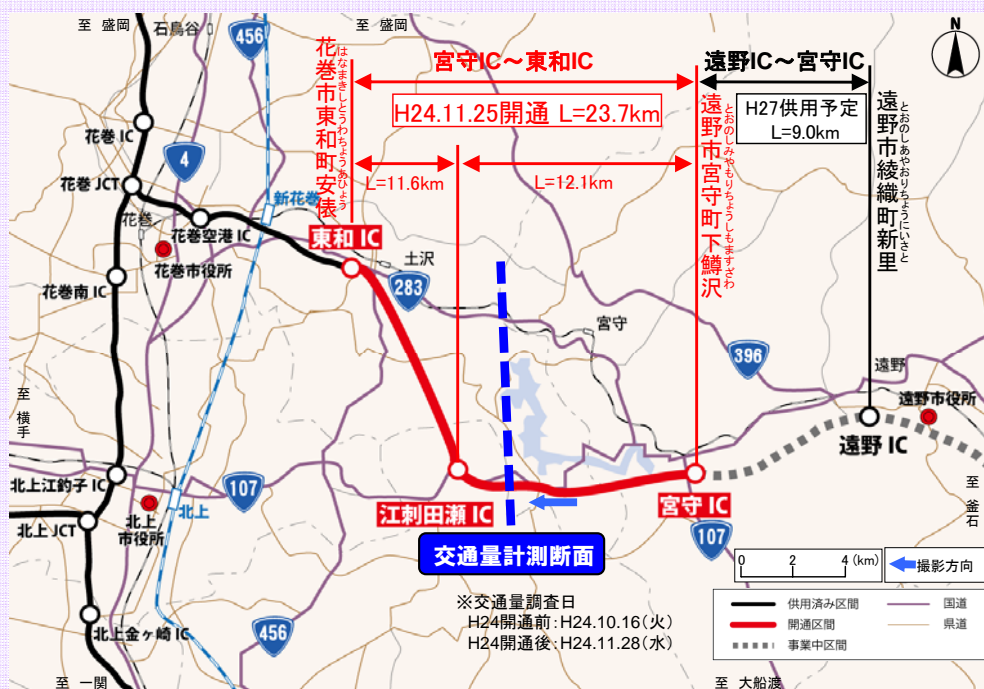
副所長(道路) くま がい しげ のり
熊 谷 茂 則 (内線205)

調査第二課長 かく だて きよ のり
角 館 清 典 (内線451)

【開通直後】東北横断自動車道釜石秋田線 みやもり 宮守IC～とうわ 東和ICが開通して

(平成24年11月25日開通)

『復興道路・復興支援道路として初めて開通』 被災地の復興を支える 物流ルートとして多くの企業が利用



■ 並行する国道107号と国道283号から横断道に約4割転換

開通前	開通後
高速 : -	高速 : 6,000台/24時間
国道107号 : 3,000台/24時間	国道107号 : 930台/24時間
国道283号 : 5,920台/24時間	国道283号 : 4,540台/24時間

※午前7時～翌午前7時の24時間交通量

■ 被災地の復興を支える物流ルートとして多くの企業が利用

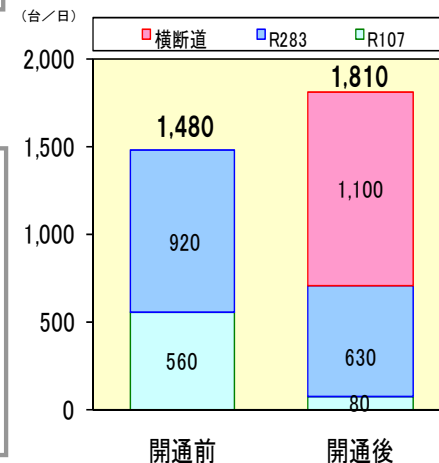
《製造業者・物流業者の声》

- ◆ 釜石市の災害復興公営住宅建設のため、青森方面から月に約40台の大型トラックで建設資材を運搬できる。
- ◆ 毎日横断道を利用して釜石市から北上市や金ケ崎町方面へ、一日に約20台の大型トレーラーで製品を出荷している。
- ◆ 営業活動や東京方面への運送で利用している。

▼ 開通区間を利用する大型車



▼ 花巻～遠野間の大型車も増加



■ 冬期には安全に走行できる物流ルートを選択

《物流業者の声》

- ◆ 急カーブ・急勾配箇所を回避でき、特に冬場はスリップ事故を避けられるなど、横断道の効果は大きい。
- ◆ 水沢から釜石港まで国道を利用しているが、雪の状況により横断道も選択して利用できる。

